

北九州市芸術文化施設指定管理者検討会(第2回) 会議録

(門司・若松市民会館)

- 1 開催日時 平成30年10月10日(水) 10:00~12:00
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎 21会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 秋山構成員、井上構成員、井端構成員、
和田構成員
(事務局) 市民文化スポーツ局文化部文化企画課長、
施設係長、担当職員
- 4 会議内容
 - 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
 - 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
 - 応募団体(共同企業体グループA2K)より提案概要に関してヒアリング
 - (構成員) 利用件数は年0.7%ずつ上昇しているが、収支計画を見ると収入が各年度同じ金額が記載されている理由を伺いたい。
 - (応募団体) 施設使用料は市へ納付するため、収入欄には記載していない。
 - (構成員) 働き方改革についてどのように考えているのか。
 - (応募団体) 閑散期と繁忙期があるが、振替休日等を利用して業務の平準化を図っている。また、時間外勤務が発生した場合は、法律に基づいて手当を支給しており、これまで問題なくやってきている。
 - (構成員) 会館を利用している団体に意見を聞いたところ、スタッフの対応も含め、評価は高い。新規の自主事業について何か考えているか。
 - (応募団体) 門司の新築移転や若松の大規模改修工事を控えているので、4期目については、今の自主事業を継承発展させていくことに注力したいと考えている。
 - (構成員) せっかく継続されるのであれば、新たな自主事業を行うことでPRして、いい意味でインパクトがあたえられればと思っている。
若松の改修工事、門司の新築移転を控えているとのことで大変とは思いますが、事業に関して何か考えているか。
 - (応募団体) スポットでも一流アーティストを呼んで、芸術文化を享受する機会の提供ということも考えているが、具体的なプランについては現時点で持ち合わせていない。5つの自主事業をやっているが、館長と受付スタッフ2人の計3人で自主事業を回している。宣伝についても、商店街、企業を回ったりするが、限られた人数の中でやっている。若松大規模改修工事などを踏まえ、自主文化事業だけでなく管理運営についても手抜きがあってはいけないので、4期目については具体的新規事業は考えてはいない。

(構成員) 先ほどスタッフがすばらしいと意見があったが、苦情はないか。

(応募団体) 門司は施設面について意見をいただくことはあるが、若松はあまりない。

(構成員) 門司、若松を利用する方の交通手段で多いのは何か。

(応募団体) 若松は駐車スペースが110台あるので、車が多い。門司は30台程度しかないので、公共交通機関の利用が多いと思う。

(構成員) 去年今年にかけて災害対応等で実働されたことはあったか。

(応募団体) 災害ではないが、お年寄りが転んでけがをして救急車を呼んだなど病人怪我人での対応がある。また、来年の2月か3月には消防署と連携して避難訓練コンサートを実施予定で、実際にお客様を誘導して、火災を想定したリアルな体験をすることで危機管理に対応していきたいと考えている。

また、危機管理マニュアルも1期目に策定して、その後、全面改訂している。

4期目も避難訓練コンサートの結果を踏まえて、必要に応じて危機管理マニュアルの改訂をしたいと考えている。

(構成員) 職員の人数が少ないことから、新たな自主事業が難しいとのことであったが、地域の方達と連携してボランティアスタッフの採用や、協同運営など、何か考えられないか。

(応募団体) 例えば、自主事業の芸能まつりでボランティアにきていただいてイベントの経験をしてもらうことを実施している。若松の音楽練習室でダンスもできるように鏡を取り付けたところであり、需要は少ないが、利用する団体もでてきたため、ダンスに関する催し物ができないか考えている。

また、「ブラスフェスタ in 若松」でも所属する団体の指揮者が中学校、高校に指導に行き、またその学校の生徒がブラスフェスタに聞きに来るなど、裾野を広げている良い機会になっていると思う。また、ブラスフェスタを見て合唱で参加したいという中学校、高校がまた参加することで広がっていき、地域、学校などと接していければと常々思っている。

(事務局) 使用料の改定が来年度から行われるが、利用者への対応をどのように考えているか。

また、利用者の件数については毎年増加しているが、大規模改修に関しては影響がないとの考えなのか。

(応募団体) 使用料改定で料金の改定額については、掲示して利用者に周知している。今後、館長を含めて問題点等があれば市と連携しながら、利用者へ説明ができるようにしたいと考えている。

大規模改修工事については、時期が明確になっていないので、利用件数には反映していない。

(事務局) アンケートの回収率が80%と記載しているが、分母にあたる配布件数はどの程度を想定しているか。

(応募団体) 100件程度を想定している。

(事務局) フェイスブック、Y o u T u b e、S N Sの活用も挙げているが、一方で、高齢者に対しては商業新聞等やフリーペーパーにより情報発信するものと思われるが、具体的にはどの程度の配布を考えているか。

(応募団体) フリーペーパーは自主文化事業を掲載しており、貸館による利用者の催し物は掲載していない。フリーペーパーの数については、この場ではわからない。

(事務局) S N S等についてはどの程度活用を考えているか。

(応募団体) フェイスブックは若松でやっているものの、更新頻度は少ない。Y o u T u b eはブラスフェスタを毎回アップしており、一定のアクセス数がある。しかしながら、高年齢層はあまり見ないので、課題と思う。また、市民会館だよりは、お客様の催し物の見所等を掲載している。会館や商店街等にも置いているが、高齢者が手に取ることが多い。若い人にはS N Sで、高齢者には市民会館だより等の紙で情報発信をしており、さらに自治会に働きかけて回覧板に挟み込んでもらって、門司区や若松区全域に配布されるような取り組みもしている。それでも情報発信は十分ではないと認識している。

(構成員) S N S等を活用しているとのことだが、個人情報のトラブルはないか。

(応募団体) これまでトラブルがあったことはない。

Y o u T u b eに上げるのは自主文化事業に限っており、掲載する時は相手の方に了承を得て行っている。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

(構成員) 指定管理者としての適性については、基本理念、基本方針について施設をよく理解していると考えられ、人的基盤や財政基盤も共同企業体を構成する両社とも問題はない。

実績はアンケート回収率も高く、利用者から好評も得ているとのことで、これも評価できる。

「施設の設置目的の達成に向けた取り組み」について、管理目標値の項目「利用件数」及び「稼働率」が一定の率で増加していることに工夫が感じられない。経験があるのでもう少し細かい設定があっても良いのではないかと思う。

収支計画では実績を踏まえているとはいえ、人件費についても、最低賃金上昇や、光熱水費についても、稼働率上昇に伴って上がっていくと思われるので、毎年度横並びというのはどうか。

管理体制は必要な人員配置や資格があり、地域との連携も図られている。

個人情報保護については、意識が高く管理についても教育がなされている。4つの取り組みで安心安全の市民会館の実現を目指しており、危機管理体制もしっかりと考えられている。

市の要求水準は満たしているが、今の自主事業をこなしていくとい

う状況ではなく、利用拡大のための新たな取り組みが必要ではないか。
働き方改革の意識をもう少し高めてほしいと思う。

(構 成 員) 指定管理者としての適性は、8項目で的確に書かれている。人材不足の厳しい現状の中で、実務経験を通して人材を育てている面も見受けられた。

有効性については、地域に根差した文化事業として、これまでの事業を継承するだけでなく、新規の事業も思い切って提起すべきではないかと思う。

利用者の満足度は、利用者から聞いても苦情はなかった。アンケートの中身についてはチェックが必要。

管理運営体制は、避難訓練コンサートなど、前向きな姿勢が感じられた。

13年間の経験の中で慣れが表に出ないように、斬新な提案があっても良いと思う。

(構 成 員) アンケートについては内容が分かれば、さらなる判断材料の一つになったと思う。門司については、新築移転したら計画が見直しされると思うので、それに期待しながら長い目でみる必要がある。

(構 成 員) 13年間という長い経験による安定感はあるが、新しい事業の提案があればさらに評価できる。

利用者からの評価が高いのは、気持ちよく使って頂くために細かいところで努力している点であり、評価に値する。

全体的には、安定した管理が期待でき、これからもさらに頑張っていたきたいと思う。

○ 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

指定管理者としては、市が重視する「優れた芸術文化を市民が享受する機会の拡大、新たな芸術文化の創造及び市民文化の向上に資すること」に関して、基本理念や基本方針でその意識を十分に持ち合わせていること、利用者からの評価が高い等、長年の指定管理者経験による安定感から、共同企業体グループA2Kは次期指定管理者として相応しいと判断する。

一方で、新たな取り組みなどについて具体的な提案が無かったことから、新規の自主事業についても是非検討していただきたい。

また、働き方改革の意識を高めていってほしい。

検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。